

事務事業名	電算システム維持管理事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務企画部	所属課	市長公室
施策名	16	行財政改革の推進				所属係	情報広報班	課長名	坂口 和也
基本事業名	53	情報化の推進				担当者名	松本 嘉奈恵	電話番号 (内線)	096-248-1977 1265
予算科目	会計 01	款 02	項 01	目 16	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 電算システムが、安全かつ効率的に利用できるようにメンテナンスや管理を行う。 合併時にシステムの入替をしている。 (業務の内容) ①民間業者にシステム保守を委託し、運用管理を行う。 ②情報電算課職員により、業務処理(システムの使用手法や帳票出力処理など)を行う。 ③毎朝システムに異常がないかの確認・点検を行う。 ④簡易プログラムの作成等により、各種資料を作成する。 (予算の内訳) 役務費、委託料						総投入量	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費計 (B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

- ・民間業者にシステム保守を委託
- ・システムの業務処理支援、各種帳票の作成
- ・民間業者のシステムエンジニア(SE)に業務処理支援を委託

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

電算システム(情報系システム・基幹系システム(総合行政システム))

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・常時、障害なく利用できる
- ・各種資料(統計等)が取り出せる

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

IT化により仕事の情報が容易に入手できる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 情報系システムの保守対象業務	件
イ 総合行政システムの支援対象業務	件
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 情報系システムの稼働数	個
イ 総合行政システムの稼働業務数	個
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 情報系システム不具合・トラブル件数	件
イ 総合行政システム不具合・トラブル件数	件
ウ 総合行政システムの資料作成数	件

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア IT化によって以前より仕事の情報が容易に入手できるようになったと感じる職員の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		70,346	65,437	65,000	65,000	65,000	
			事業費計 (A)	千円	0	0	70,346	65,437	65,000	65,000	65,000
	人件費	正規職員従事人数	人			6	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間			5,549	5,374	5,200	5,100	5,000	
		人件費計 (B)	千円	0	0	22,030	21,335	20,644	20,247	19,850	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	92,376	86,772	85,644	85,247	84,850	
活動指標			アイウ	件 件			3 69	3 70	3 71	3 71	3 71
対象指標			アイウ	個 個			3 69	3 70	3 71	3 71	3 71
成果指標			アイウ	件 件 件			50 271 70	40 100 100	35 80 100	30 60 100	20 40 100
上位成果指標			アイウ	%							

合志市

事務事業名	電算システム維持管理事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	--------------	-----	-------	-----	------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成18年2月の合併により、電算システムを導入し、システムを安定して運用するために開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
開始時期に比べて、システムも多様化してきている。
また、制度改正にともなう、影響度の確認や、今後の事業費の見込み等、各課からの統計資料の要望が多い。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
職員から使用中に画面が固まるなどの連絡がある。
システムを動かしている一部のソフトで処理速度が少し遅いものがあり、その対象の業務担当者から処理速度を改善してほしいと要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 電算システムを安定して稼働させることは、住民サービスの安定した提供や向上、職員の事務軽減や効率向上を図ることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 電算システムで行っている業務は、法律に基づくものや住民サービスをすばやく行うために実施しているものであり、公共性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 システムによっては処理能力や速度が遅いものがあるので、処理能力や速度を上げることで事務効率が向上し、住民サービス向上が期待できる。 また、システムの誤った操作で使用できなくなることもあるので、正しい操作を徹底させる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 処理時間や事務の質などが従来と同等の市民サービスを提供することができなくなる。 職員の事務量の増加や煩雑化を招き、事務効率が低下する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 保守の内容の見直すことで、委託業者に支払っている保守料を削減することができるが、システムの内容も増加しているので現状で削減の余地はない。また、アウトソーシング(専門の業者へ外部委託すること)を利用することでも維持管理費を削減することはできるが、住民情報が外部に存在し、個人情報流出する可能性があり、情報セキュリティが万全であるかという問題がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現状で、定期保守は民間業者に委託している。それと別に派遣システムエンジニアやアウトソーシングを利用することは可能であるが、⑦と同様の問題が発生する。また、派遣料が高額となり、各種資料の即時入手等が困難となる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 住民サービスを安定して提供できるように維持管理体制を整えているので、公平・公正である。

合志市

事務事業名	電算システム維持管理事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	--------------	-----	-------	-----	------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

情報系システムでは、定期保守以外でシステムの修正を依頼しても、システム上修正は出来ないとの回答が多かった。今後システムを入れる際は、業務上必要な項目を挙げ、それに対応しているか、また必要に応じて修正が可能かを検討する。

電算システムの誤った操作によって予期せぬ動作不能状態に陥り、業務に支障が出てしまう場合も考えられるので、どのような操作で動作不能になってしまうかという例を示し、正しい操作を心がけるよう徹底させたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

システムが多様化していくので、保守内容についても見直していくことが必要。
住民サービスの低下や職員の負担がかからない方法で、事業費が削減できる方法を検討する。(極力委託に頼らない資料の作成、職員がシステムを熟知し運用誤りを減らすなど)

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

アウトソーシングや派遣システムエンジニアを利用する場合、住民情報が外部に出ることになる。個人情報保護や情報セキュリティが守られるかという問題があるので、本当に市全体に有効なものであるか慎重に考えなければならない。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項